

国内初、4つのISO規格統合で認証取得

日本水工設計

アセット柱にマネジメント推進



立上社長から登録証を受け取る藤木社長(右)

日本水工設計(本社・東京、藤木修社長)は、4つのISO(国際標準化機構)規格に基づくマネジメントシステムを統合し運用する組織として、国内初となる認証を取得した。8日、認証機関の日本環境認証機構(本社・東京、立上和男社長)から同社に対し、「統合マネジメントシステム」が全ての要求事項に適合していることを証する登録証が授与された。

同社は、昨年取得したISO55001(アセット)を柱とし、これまでに取得した9001(品質)、14001(環境)、27001(情報セキュリティ)を合わせた4規格を統合した。背景には、ISOがマネジメントシステム規格の間で共通する用語・定義の一元化や、要求項目の共通化など整合性を高める取り組みを進めたことで、規格の統合運用が

容易になったことがあった。藤木社長は、「当社では、かねてからISO規格を活用した経営改善に努めてきた。これまでも、3つの規格を統合的に運用するため、社内ですべてに複数の規格の認証を持つ企業には、経営改善のツールとして、規格の統合化とあわせて55001の取得を推奨したい」と話した。